



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

令和2年9月30日（水）No. 7
横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

人とのつながりを大切に

校長 新井 篤志

熱中症が心配された9月でしたが、ようやく秋らしい季節を感じるような日々が多くなりました。10月は秋本番で、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋などいろいろなことに取り組むのによい季節です。その中で運動会が開かれます。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、通常とは異なる形で実施いたします。子どもたちが楽しみにしている運動会です。職員一同、工夫をして思い出に残る運動会を目指したいと思います。保護者の皆様にもご不便をかけるところも多々ありますが、ご協力ご理解をいただきたいと思ひます。

さて、子どもたちも学校生活に慣れてきましたが、やはり自分は何か人のためにできることがあればうれしい気持ちをもっているというのが、日々の生活の中から感じられます。6年生が順番に1年生の給食が終わったあとに、牛乳パックの開き方を教える場面がありました。6年生が1年生一人ひとりに教えている姿を見ると、頼もしいと感じました。また、1年生も6年生から教えてもらったことを一生けん命に覚えようとしていました。6年生への尊敬の気持ちも感じられました。また、授業で自分たちの学習したことを他の学年の人に見てもらおうとする活動では一人ひとりの工夫が見られ、見た学年の人たちにも印象に残っていました。さらに、委員会活動も5・6年生が自分たちで選んだ仕事を楽しく取り組んでいる様子もよく見られてきました。

新型コロナウイルスのために人との関わりが難しくなっていますが、子どもたちには人との関わりがもてることは、人として成長していく上で大切なことであるというのを改めて感じさせられました。子ども同士の関わりが、相手のことを思いやる気持ちにつながってくることもわかります。3密を避けることはしなければなりません、人との関わりをもつことはなんとかしていきたいと思ひます。